

## 無効資料調査に対する新しいアプローチ

検索式やキーワードに基づく調査(審査官と同じアプローチ)では見落としているかもしれない特許文献を迅速に集めます。

### ケーススタディ: アルゼ vs サミー訴訟

訴訟の焦点になった特許の公開番号を中心に、類似特許1000件検索し、視覚化すると、**無効資料**が**対象特許**のすぐ近く!

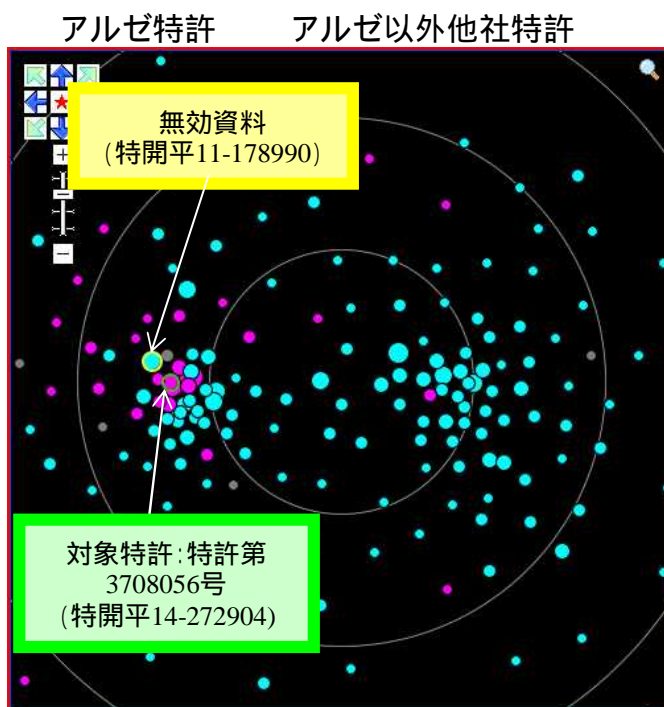
#### 調査方法

対象特許の公開番号を入力  
調査範囲: 1993年 ~ 2002年公開の  
公開系公報  
収集件数: 類似特許1000件

#### XLUS入力画面

公開特許番号による概念検索

P2002-272904A  
公開年の範囲 from 1993 to 2002  
収集件数の上限 1000 (<100000)  
Search by Patent reset



1つの点は1つの特許集合(クラスター)を意味しています。類似性の高い特許は同じクラスターに入ります。大きいクラスターは多くの特許を含んでいます。内容の近いクラスター同士は近くに配置されます。クラスターが集中している領域は研究開発が活発な分野です。

**検索式は不要。調査会社に外注する前に、この概念検索とマッピングにより、有力な無効資料候補を素早く集めることができます。**

#### 参考: アルゼvsサミー訴訟

平成17年12月27日 アルゼ株式会社は特許第3708056号侵害に基づき、サミー株式会社に対し、損害賠償請求(過去最高210億円)を東京地方裁判所に提起。

それに対して、平成18年3月1日 サミー株式会社は特許第3708056号の無効審判請求を特許庁へ提起。

その結果、特許庁は特許第3708056号を無効とする審決をくださいました。

~ お問い合わせは、下記まで ~

株式会社 創知

Tel: 03-6231-7910

http://so-ti.com/